



緑陰通信

～県立図書館に行こう～

News from the shade of trees

- P1…「みどりの図書館フェスタ」開催!!
- P2…「特別展『宮崎の新聞』」、「マイラインのご利用を!」
「日向動変記事」について
- P3…「レファレンス」ってなあに?」、「新着図書案内」
- P4…「子どものための『みやざきの言の葉』講座を開催中です」
「『みやざきの言の葉』語り部養成講座開催中!」
「イベントのお知らせ」、「特別整理期間の変更のお知らせ」

【連絡先】
宮崎県立図書館
総務・企画課
TEL: 0985-29-2956

※緑陰通信は県立図書館のホームページ
(<http://www.lib.pref.miyazaki.jp/>) から
もご覧いただけます。



10月27日から11月9日までの期間は、「秋の読書週間」です。この期間に合わせ、県立図書館では11月3日(月・祝)に「みどりの図書館フェスタ」を開催します。当日は、1階ロビーをメイン会場として様々なイベントを行います。ぜひ、「読書の秋」を県立図書館でお楽しみください。

ほくたちも
フェスタを盛り上げにくるよ。
ぜひ、会いに来てね。



◆メイン会場(1階ロビー)のイベント

【第1部】

10:30 ~ 11:05	オープニング	大淀中学校合唱部による合唱ほか
11:10 ~ 11:30	本を楽しもう①	図書館職員による読み聞かせ、エプロンシアターなど
11:35 ~ 12:20	手品&バルーンアートショー	わくわくどきどきの手品&バルーンアートショー

※休憩 (12:20 ~ 13:00)

【第2部】

13:00 ~ 13:20	本を楽しもう②	学生ボランティアによる読み聞かせなど
13:25 ~ 13:55	子どものための発表活動	子ども民謡の発表
14:00 ~ 14:20	朗読の世界へようこそ!	宮崎大宮高校放送部による朗読
14:25 ~ 14:40	みやざき犬ステージ in 図書館	みやざき犬によるダンスパフォーマンスなど
14:45 ~ 15:00	エンディング	読書団体表彰など
15:00 ~	お楽しみ抽選会	様々なイベントに参加して、スタンプを集めよう。景品が当たるお楽しみ抽選会に参加できます。

◆その他のイベント

11:15 ~ 14:30	「クイズラリー」郷土資料に関するクイズラリー。景品もあります。
11:15 ~ 14:30	オリジナルしおり&マイはし作り
11:15 ~	高鍋農業高校の生産物の物品販売 (品物が無くなり次第、終了します。) 「Super 歩一歩の店」の飲食物販売 (品物が無くなり次第、終了します。)

お知らせ

※当日は、様々なイベントのため、騒がしくなることが予想されます。あらかじめご了承ください。
※駐車場の混雑が予想されます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。
※プログラムの時間や内容は変更になることがあります。

特別展「宮崎の新聞～新聞は何を伝えてきたのか？」

好評開催中!!

会期：平成 26 年 9 月 30 日(火)～11 月 24 日(月・祝)

会場：県立図書館 2 階 特別展示室

日本における新聞(日本語の日刊新聞)は、明治 3 年(1871)に横浜で創刊された「横浜毎日新聞」が最初で、その後各地で新聞が創刊されるとともにいわゆる全国紙が登場します。新聞のない地方でも郵送で手元に届けるシステムが生まれ、政治や経済等の情報を共有する手段となっていました。

宮崎県内で発行された新聞は、126 年前の明治 21 年(1888) 3 月に創刊された「宮崎新報」が最初です。その後「日州独立新聞」が登場し、「宮崎新報」を合併して「日州新聞」が誕生します。大正時代になると「宮崎毎日新聞」などの地元紙が創刊され、さらに、鉄道の開通を機に県外に資本を持つ「延岡新聞」や「都城新聞」などが入り、新聞の数も増えました。昭和戦前期には新聞統制が行われ、昭和 15 年(1940)には政府の思想統制の一環である「一県一紙」政策により、宮崎県内にあった多くの新聞が「日向日日新聞」一紙に統合されました。このような変遷の中で、新聞は情報源あるいはオピニオンリーダーとしての役割を果たしながら現在に至っています。

今回の特別展では、串間市旧吉松家住宅で確認された初公開となる「宮崎新報」創刊号(明治 21 年 3 月 15 日発行、写真)をはじめ、「鹿児島新聞」や「日向日日新聞」など明治期から昭和戦前期にかけての新聞を展示し、宮崎県内の新聞史を紹介するとともに、新聞が伝えてきた記事を通じて新聞の役割を考えます。



「宮崎新報」創刊号
(串間市教育委員会蔵)

マイラインのご利用を！

マイライン (Miyazaki Prefectural Library Advanced Information Network System の略) とは、県立図書館と県内の市町村立図書館・図書室とを結ぶネットワークのことです。

あなたの読みたい本がお近くの市町村立図書館(合併前の宮崎市は除きます)になく、県立図書館に所蔵しているものならば貸出いたします。遠方から県立図書館においでにならなくても無料でお住まいの図書館で貸出・返却できます。

所蔵しているかどうかは県立図書館の HP にある「蔵書検索」からお調べいただき、貸出を希望される方は、お住まいの市町村立図書館でお申し込みください。

マイラインは原則として毎週発送しています。ぜひご利用ください。

特集:館蔵史料紹介「日向動変記事」について

宮崎県立図書館所蔵の佐土原藩島津家文書には、『島津家日記』や『佐土原藩譜』など多くの史料がありますが、その中でも『日向動変記事』は特異な存在と言えます。江戸時代前期の児湯郡三納村(現:西都市大字三納)に関する記述が多いことから、佐土原藩領三納村に住んでいた人の筆によるものではないかと思われそうですが、同藩の他の古文書に多い政治史関連のことや武士の生活だけではなく、災害や事件が起こった時に、村の農民がどのように考え、どのように行動したかということも詳しく描写されており、庶民生活を語る史料として貴重なものです。

内容としては、寛永 18 年(1641)に九州で牛の奇病が流行したこと、翌年に三納村の山中で大規模な土砂崩れがあったことなどが記されていますが、なかでも承応元年(1652)の「西国光物之事」は興味深く、夜の 8 時頃、佐土原領内で大きな壺のような形の光を放つ物体が、大きな尾を引きながら西の空から東の空へ飛んでいったとされ、海上で大きな音を立てて爆発したとのこと。この事件により、領内は大騒ぎとなり、目撃者の体験談が収集され文書に記録されたのですが、ひょっとしたら隕石が何か爆発したとも考えられます。

上記史料は貴重書庫内に原本があります。著者は不明であり、成立時期については江戸時代中期ごろとしか分かっていませんが、その訳文は、「日向郷土史料集」第 5 巻・第 6 巻(1963 年)と「佐土原藩騒動記」(1996 年)の中で全て紹介されています。1 階閲覧室の奥にある郷土資料室で借りることができますので、是非、読んでみられることをお勧めします。



「日向動変記事」 「西国光物之事」

「レファレンス」ってなあに？

みなさんは図書館のレファレンスサービスをご存じでしょうか？レファレンスとは「情報相談」や「参考相談」というもので、宮崎県立図書館では閲覧室 4 番カウンターにて相談を受け付けています。それでは、レファレンスサービスの具体的な内容につきましてご紹介いたします。

○調査や研究、身近な疑問解決に必要な資料の紹介や本を探すお手伝い

例えば「世界の人口が載っている本はないか？」「おばあちゃんが生まれた大正 11 年の新聞が見たい」「現在は埋め立てられている西池のことについて調べたい」「みかんの木の剪定方法について知りたい」「30 年前に読んだ本でタイトルが思い出せないんだけど…」などなど、様々な質問に資料に基づいてお答えします。

また、大学や研究機関、国立国会図書館等への文献複写の申し込みも受け付けております（複写料や送料・手数料は申込者負担）。

○所蔵していない図書の取り寄せ

お探しの本が宮崎県立図書館に所蔵されていない場合は、県内外の図書館や国立国会図書館などから取り寄せて借りることができます（費用は無料。貸出期間等の利用条件は図書館によって異なります）。

レファレンスは、来館されなくても電話や FAX、お手紙やメールでも受け付けています。なお、メールは宮崎県立図書館ホームページの「レファレンス申込」からお願いいたします。図書館は本を読んだり借りたりするだけの場所だと思っていませんか？実は、図書館はみなさんの課題解決のお手伝いの場所でもあります。レファレンスサービスを上手に活用して、図書館利用の達人を目指しましょう！



レファレンス申込先

情報提供課 情報提供担当
(4 番カウンター)

TEL 0985-29-2972

FAX 0985-22-9070

新着図書案内 ~自然や環境に関する資料を特別収集しています~



県立図書館では、人と自然が共生する地域環境づくりを支援するため、自然や環境に関する資料を特別収集しています。

『どんぐりの呼び名事典 拾って楽しむ』

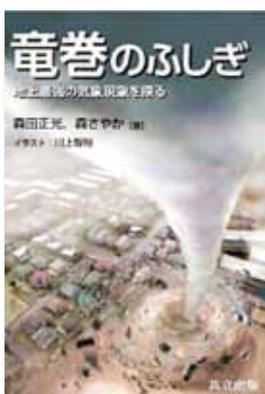
宮國晋一 / 写真・文 (世界文化社)

内容紹介：長年にわたる収集と撮影を通し、多数のどんぐりを掲載した大図鑑。レッドオークをはじめとする外国産も多数紹介。どんぐり各種の名前の由来、食べ方、保存方法など、盛りだくさんの内容。(日販マークより)

~関連図書~

『葉っぱで気になる木がわかる Q&A で見分ける 350 種樹木鑑定』 林将之 / 著 (ダイヤモンド社)

『拾って探そう落ち葉とドングリ・松ぼっくり』 平野隆久 / 写真 (山と溪谷社)



『竜巻のふしぎ 地上最強の気象現象を探る』

森田正光 / 著 (共立出版)

内容紹介：竜巻の基本から、姿と動き、発生、被害と身の守り方まで、竜巻に関するトピック 34 項目を、イラストや写真をたくさん用いてわかりやすく解説。ドクター・トルネードと呼ばれた藤田哲也博士の生涯も取り上げる。(日販マークより)

~関連図書~

『気象・天気の新事実』 木村龍治 / 監修 (新星出版社)

『竜巻・延岡を襲う!』 (夕刊デイリー新聞社)

子どものための「みやざきの言の葉」講座を開催中です

子どものための「みやざきの言の葉」講座を、宮崎大学教育文化学部教授山田利博氏を講師に招き、7月17日に県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校、7月29日に県立宮崎西高等学校附属中学校で実施しました。講座は「身近にある神話」というタイトルで行われ、生徒の皆さんは宮崎の神話・伝承について興味深そうに、楽しく学んでいました。実施後のアンケートでは8割以上の生徒が「神話・伝承に対して興味や関心がわいた」と答えています。感想には「神話は面白く、また、宮崎にゆかりがあることを誇りに思いました。」「神話について今まで考えたこともなかったが、今回の講義を聞いて興味がわいた。神話が身近にある宮崎はもっと知識を深めて全国に発信していくべきだと思う。」「神話のふるさとといわれている宮崎に住んでいながらもあまり神話について詳しくありませんでした。しかし、今回の講話を聞いて、興味をもってみようと思いました。私にとってとてもいい経験になりました。」という声もありました。



山田氏の講義

この講座が子どもたちの「宮崎に伝わる神話・伝承等の言語文化を学び継承していこう」という意欲を高め、郷土みやざきへの愛や誇りをもつ契機となることを期待しています。
(今年度は、今後、中学校2校でも実施する予定です。)

「みやざきの言の葉」語り部養成講座開催中！



グループ内発表の様子

「みやざきの言の葉」語り部養成講座(全6回)を佐土原と延岡で開催中です。第1～3回は神話・伝承、第4～6回は民話に関する講座となっており、演習も交えながらの実施です。受講者の方々からは、「宮崎は歴史的に古代から神話の豊かな土地である事がよくわかった。食べ物、神社、大変自慢すべきものも多く、後世に残さないといけないと思う。(第1回)」「神話から学ぶものでは、私達の現代にもつながっている事があると再確認できた(生命の大切さ・絆・思いやりと優しさ)。語り方、発声練習にもなった。(第2回)」「グループに分かれて学習ができてとても良かった。皆さんの声や意見、アドバイスをきけて、今後の語りの勉強の励みになった。発表された皆さんの語りが聞けて良かった。次回も楽しみ。(第3回)」との感想が寄せられました。

講座の受講後、学ばれた内容をさまざまな形で広げ、本県の価値ある言語文化を次世代に語り継ぐ活動がますます推進されることを期待しています。

◆イベントのお知らせ

12月21日(日) 第3回緑陰コンサート(クリスマスコンサート)
1月25日(日) 緑陰セミナー



◆特別整理期間の変更のお知らせ

変更前 2月9日(月)～2月16日(月) → 変更後 2月16日(月)～2月23日(月)

※特別整理期間の変更に伴い、図書館シアターなど、一部の年間の行事予定が変更になります。詳しくは図書館の事業案内やカレンダー、ホームページなどをご覧ください。

ご利用案内

開館時間 ■ 一般閲覧室：9:00～19:00
(日曜・祝日は9:00～17:00)
■ 児童図書室：9:00～17:00
休館日 ■ 毎週月曜日(祝日の場合翌日火曜日)
年末年始 12/29～1/4
特別整理期間：2/16～2/23

編集・発行

●宮崎県立図書館

住所 ■ 〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1
TEL ■ 0985-29-2911 (総務・企画課)
FAX ■ 0985-29-2491 (総務・企画課)
HPアドレス ■ <http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp>
携帯アドレス ■ http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm

